

安全にお使い頂くために必ずお読みください

レーシング製品取扱説明書

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の際には、この取扱説明書を熟読いただき、内容を十分にご理解の上で正しい取り付けを行いご使用下さい。取扱説明書の指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご注意ください。またこの取扱説明書は製品を破棄されるまでお手元に保管いただき、第三者に譲渡される場合は必ずこの取扱説明書も譲渡者にお渡し下さい。

- ご購入後二週間以上経過した製品及び取り付け使用した製品の返品はお受けできませんのでご了承下さい。それ以外の返品につきましては送料元払いにて当社までご送付をお願い致します。
- 本製品の販売価格には取り付け工賃、消費税は含まれておりません。
- 本製品の仕様及び販売価格は予告なく変更する場合がございます。予めご了承下さい。

⚠ 警告

取り扱いを誤ると死亡又は重症を負う可能性が想定される内容を表示します。

1. エンジン始動中及び停止後はしばらくの間、エンジン、マフラー等は高温になっています。必ず冷間時に作業を行って下さい。(触れると火傷等の負傷を負う恐れがあります)
2. 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させた安全な状態で作業を行って下さい。(作業中、四輪車・二輪車が落下・転倒し怪我をする恐れがあります)
3. 冷却液は毒性があるため飲用したり、皮膚、目、衣服に付着させないで下さい。
 - ① 皮膚、衣類に付着した場合 →石鹸を使用し洗い流して下さい。
 - ② 目に入った場合 →多量の清水で十分に洗い流し、専門医の治療を受けて下さい。
 - ③ 誤って飲んだ場合 →直ちに吐き出させ、うがいをした後、専門医の治療を受けて下さい。
4. 近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないで下さい。(火災の原因になります)
5. エンジンを始動させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所ではエンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります)
6. 各ボルト及びナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを守って締め付けて下さい。(締め付け不良はボルト及びナットの破損や緩みの原因となり部品の脱落等につながる恐れがあります)
7. 法定速度を厳守し安全運転を心がけて下さい。(転倒による怪我、死亡事故の原因になります)

⚠ 注意

取り扱いを誤ると傷害又は物的障害が発生する可能性が想定される内容を表示します。

1. 取り付けは技能、知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店又は認証工場で行って下さい。(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
2. 当社指定車種以外での取り付けは行わないで下さい。(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
3. お客様による分解や修理、改造、加工は危険ですので行わないで下さい。修理の際は、お買い上げ販売店または当社にご連絡下さい。(製品の機能が損なわれ故障等の原因になります)
4. 取り付けの際には、軍手、長袖等で身体を保護し、十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)
5. 製品取り付け後は走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認した上で走行して下さい。
6. 取り付けたボルト及びナットは約 100km 走行後、改めて規定トルクで増し締めを行って下さい。また、定期的に各部の増し締めを行って下さい。
7. 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行って下さい。
8. 冷却液の保管には十分注意し、特に子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。
9. 冷却液は塗装面、プラスチックやゴム部品などを傷めるので付着させないで下さい。付着した場合にはすぐに水で洗い流して下さい。

使用上の注意

- 走行毎に必ず運行前点検を実施して下さい。(冷却液漏れは、エンジンの破損・損傷につながります)
- ラジエーター本体の容量が大きくなり、オーバーホールとなります。水温管理を確実に行って下さい。(水温計等を装着し、適温での運行を行って下さい)
- 飛び石等による冷却フィンの変形・損傷は、細いマイナスドライバー等で修正を行って下さい。(冷却機能の低下につながる恐れがあります)
- 飛び石等による塗装剥離は、タッチアップペイント等で補修して下さい。(腐食の原因になります)
- 走行していない状態(風の当たっていない状態)での長時間のアイドリング・空ぶかし等を行うとマフラーの発熱によって冷却ファンが変形・損傷する場合がありますのでご注意ください。特にチタン製マフラーの場合は放熱効果が高いためよりご注意ください。(マフラーに扇風機等を使用して風を送るなどして下さい)

作業上の注意

- 冷却液の温度が 100℃以上あると思われる場合は、ラジエーターキャップをむやみに開けると、圧力が低下して急激に冷却液が沸騰し、蒸気が吹き出る事があり大変危険です。温度が低下してからウエス等でキャップを包み、静かに開けて下さい。
- 冷却液の整備は冷間時に行って下さい。
- 取り付け位置は、ノーマルマフラーを基準に設定してあります。マフラーを社外製に交換している場合、マフラーと干渉・接触する恐れがあります。
- 冷却液は真水のみでの使用はしないで下さい。サービスマニュアルを参照しラジエーター液と上水道水を適正濃度にてご使用下さい。(冷却液の凍結、ラジエーター・エンジンの腐食につながる恐れがあります)
- 冷却液のエア抜きは確実に行って下さい。
- 車種によっては別途必要パーツがある場合がございます。必ず車種別取り付け注意事項を参照し、事前にご用意下さい。